



# 黒島魂

～しまごころ～

「みがきあい(キラキラ)」

「ささえあい(ニコニコ)」

「わかりあい(ワクワク)」

## 県民祈りの日

今日8月9日は、県民祈りの日です。先日、長崎の子供に、原子爆弾投下の日時を尋ねたところ、正確に回答できた子供の割合が思いがけず少なかったことをニュースで伝えていました。記憶が定かではなく、その割合が、どれくらいであったのかは思い出せないのですが、毎年8月9日に平和について指導をしてきた身としては、衝撃が走る数値であったことは間違いありません。

私は、常々長崎県の子供たちは、将来世界平和の推進役を担ってほしいと思っています。その願いを込めて、平和集会で講話を行いましたので、紹介します。



おはようございます。

この数字(13, 130)は何の数だと思いますか？最後に教えますので、頭の片隅に置いてお話を聞いてくださいね。

今日は8月9日です。今から76年前、長崎市でとても悲しい出来事がありました。それは何でしょうか？皆さんわかりますよね。そうです。今から76年前、1945年(昭和20年)8月9日11時2分、長崎市に一つの原子力爆弾が落とされ、多くの人々が亡くなったり、けがをしたりしました。さらにこの原子力爆弾には、放射線という人間の体を壊す物質が含まれており、やけどや怪我がなかった人も、この放射線のために病気になり、その後も多くの人々が亡くなりました。また、それだけでなく、76年たった今も、この放射線に苦しんでいる人が大勢いるのです。

このように原子力爆弾とは、大変恐ろしい兵器なのですが、なぜ長崎に落とされたのでしょうか。それは、日本がアメリカなどの国と戦争をしていたからです。では、なぜ日本はアメリカなどの国と戦争をしてしまったのか…。戦争を防ぐことはできなかったのか…。

それを、今日は学級で先生やお友達と考えてほしいのですが、考えるヒントを一つだけ教えます。それは、戦争は「国と国の喧嘩」であるということです。皆さんはお友達と喧嘩したことはありますか？その時のことを思い出してください。その友達との喧嘩はどうして起こってしまったのでしょうか？どうやって仲直りができたのでしょうか？どうすれば喧嘩をしなくてすんだのでしょうか？それを考えることが、国と国の喧嘩、つまり、戦争を防ぐことへとつながっていきます。どうか、しっかりと考えてみてください。

最後に、さっき皆さんに見せた数字(13, 130)のことです。その前に、長崎に落ちた原子力爆弾のような武器を、核兵器といいます。この13, 130という数字は、2021年6月1日現在、世界にある、核兵器の数なのです。76年前の長崎では、たった一つの核兵器(原子力爆弾)で、何万人という人が亡くなったり、怪我をしたりするのに、今現在世界中には13, 130発の核兵器が存在するのです。このことを皆さんはどう考えますか？

皆さんにお願いがあります。今日8月9日を、原子力爆弾の犠牲になった方のご冥福を祈りながら、自分たちの力で、戦争のない、もう二度と、核兵器が、世界のどこにも落ちることのない、平和な世界を作っていくのだと強く決意する日にしてください。よろしくお祈りします。



日本のメダルラッシュに沸いたオリンピックが終了しました。色々な競技をテレビや配信で見たのですが、印象的だったのが、一流アスリートたちの試合終了後の立ち振る舞いです。金メダルが確定しても無表情のまま、終始淡々とした態度で挨拶をし、畳を降りた時によくコーチと笑顔で握手をかわす柔道選手、死力を尽くしたうえでの敗戦に、涙を流し立ち上がることができない相手チームの選手に、優しく寄り添い、言葉をかけるラグビー選手、すべての試技を失敗し、競技を終える選手を称える陸上跳躍選手……。今回は5年間の思いのつまったオリンピックです。勝利に喜びを爆発させる姿も良いのですが、一方で、相手をリスペクトし、思いやる、一流アスリートたちの謙虚で気高い姿に多くの感動を覚えた3週間でした。子供たちが生きる未来社会は予測困難な時代です。であるからこそ、相手の立場に思いを馳せる「**優しさ・賢さ・謙虚さ**」を、子供たちに身に付けさせなければならない、と決意を強くしたところです。